

独立行政法人国立美術館の平成28年度業務実績に関する評価結果を踏まえた運営業務の改善等への反映状況

中期計画項目	平成28年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘を踏まえた平成29年度の改善の状況
<p>I. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1. 美術振興の中心的拠点としての多彩な活動の展開</p> <p>(6) 快適な観覧環境の提供</p>	<p>・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、外国人向けの展示環境の充実等、多言語化に向けた取組等については、積極的に推進していく必要がある。</p> <p>・夜間開館については、他の美術館等と連携して広報やイベントを行うなど、定着に向けた取組を継続的に実施する必要がある。</p>	<p>・所蔵作品展の章解説、作品キャプション表記、および音声ガイドの多言語化（従来の和英に中韓を追加）を実現するなど、法人全体で展覧会における多言語化の強化に努めた。</p> <p>・平成29年度は、所蔵作品展において原則金曜日及び土曜日の開館時間を午後8時まで延長した。</p> <p>・プレミアム・フライデーには、各館において、ギャラリー・トークやコンサート等を実施した。</p> <p>・東京国立近代美術館では、「MOMATサマーフェス」（H29.7.19～9.30）として、前庭に「ガーデンビアバー」を出店したり、「5時から割引」や展覧会と連動したイベント、交通機関との連携によるスタンプラリーなどナイトミュージアムを楽しむ企画を展開した。</p> <p>・都内の国立美術館3館と都立美術館・博物館3館が共同で夜間開館をPRするキャンペーン「宵の美」を展開し、夜の美術館の楽しみ方を広く広報した。（H29.7～8月）</p>
<p>I. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p>	<p>・東京国立近代美術館フィルムセンターにおける所蔵作品については、収集・保存に加え、今後はその活用についても強化していくことが求められ</p>	<p>・東京国立近代美術館フィルムセンターが、より機動的かつ柔軟な運営を行い各館とならぶ独立した一館として収集・保存に加えて活用についても</p>

3. 我が国における美術館のナショナルセンターとして美術館活動全体の活性化に寄与 (3) 国内外の映画関係団体等との連携等	る。	活動を強化できる体制を整備することとし、現在、平成30年4月の独立に向けた準備を行っている。
--	----	--